

「室内楽演奏会の開催」

添田 みちる

《企画概要》

ドイツで活躍中の添田みちる（ヴァイオリン、ヴィオラ）、石塚廉（コントラバス）、島田優美（ピアノ）の3名による室内楽コンサートの開催。

日時：2023年7月29日（土）14:00

会場：アートスペース二条城前 Alba

プログラム：G.ボッテジーニ／カプリチオ・ディ・ブラヴァーラ（Cb,Pf）

H.ヴィエニアフスキ／創作主題による変奏曲（Vn,Pf）

J.M.シュベルガー／ヴィオラとコントラバスのためのソナタ（Va,Cb）

A.ピアソラ／ブエノスアイレスの四季（Vn,Cb,Pf）

《目的・達成したい成果》

海外オーケストラへの就職を叶え、今後母国日本でも演奏家としてコンスタントに活動する基盤を作っていきたい。敢えて自分の出身地から遠い関西圏から活動をスタートすることにより、新規顧客開拓を狙いたい。

公演を土曜の昼にコンパクトな会場に設定し、学生向けのチケット価格や未就学児の入場を促すことで、様々な客層の来場のハードルを下げ、まず興味を持ってもらい音楽に触れてもらう機会を作る。

スタンダードなプログラムではなく、多種多様で挑戦的なプログラムを採用することで差別化を図る。今回クラシックからは異ジャンルとされるピアソラの作品を取り上げ、世の中にある単純に弾きやすく編曲されたものとは異なり、限りなくオリジナルの形と融合させる実験的な編曲を施している。

また私自身同様、クラシック音楽の本場ドイツに活動基盤がある2名の音楽家と共演することにより、お客様にドイツ留学や就職にも興味を持ってもらいたい。

《プロフィール》

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部を経て、同大学大学院卒業。ドイツ学術交流会（DAAD）より奨学金を得て、ドイツ・ヴァルツブルク音楽大学に留学。同大学修士課程と演奏家国家資格課程を修了。今までに全日本学生音楽コンクール、Coupe Mondiale 国際コンクール等に入賞。2018年に結成した Duo Amuse(ヴァイオリン、アコーディオンデュオ)として、ドイツ、ロシア、日本を中心に様々な音楽祭や演奏会に招待され出演する他、新作の初演も精力的に行っている。

2022年8月より北西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団第2コンサートミストレスを務めている。